



社会福祉法人 博愛会

デイサービスセンター ルーエハイム



春暖の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。気候の上ではまさに「春爛漫」ですが、暦の上では早やくも「晩春」です。今年は東日本大震災があった為、例年のように春を謳歌することはできませんが、太平洋戦争を経験していらっしゃった利用者の皆様は、日本の復興を祈念し、日々の生活の中で春を感じていらっしゃいます。そのようなデイサービスの様子を今月もお届けいたします。

* 月に1度おやつ作りをしています * 3月 28日(月) 抹茶蒸しパン作り



今回使用した“抹茶”は茶葉を石臼でひいた粉末状のもので、茶葉に含まれる栄養成分をそのまま取り入れることができます。そんな栄養価の高い抹茶をたくさん使い、手軽でおいしい蒸しパン作りに挑戦しました。

男性の利用者様も率先して参加して下さい、鮮やかな抹茶色の蒸しパンが出来上がりました。

「抹茶が入ると甘すぎやんと、丁度ええ味やなあ」
「私はもう少し甘くてもええかなあ、でもおいしいわ」とそれぞれ好みの味があるようでしたが、今回も成功です。



* 毎月 10 日はトモの日! * 4月 10日(日) カルシウム・鉄たっぷり料理

- ☆ 筍ひじきご飯
- ☆ 鯖とプルーンの味噌
- ☆ いか団子のクリーム煮
- ☆ グリーンサラダ
- ☆ すまし汁



いちごとミルクのムース

* 今月のトモの日は、日曜日にあたり、デイサービスはお休みでした。来月のトモの日をお楽しみに♪

☆ 一口メモ ☆

今回の注目食材は“ひじき”。

食物繊維やミネラルを豊富に含むひじきは、何ととってもカルシウムの含有量が特筆もの！一人当たり1回で食するひじき（約15g）に含まれるカルシウムの量は、牛乳1杯分に匹敵します。また鉄の含有量も海藻類の中では一番で、貧血予防に役立ちます。

サービス利用・デイ通信へのお問い合わせは

〒510-0266 鈴鹿市長法寺町字権現 763

E-mail ruheheim@circus.ocn.ne.jp

Tel 059-372-3811(代) fax 059-372-3814

ホームページ <http://www.ruheheim.com>

※ ホームページ スタッフブログの“ルーエハイム通い”では、デイサービスセンターの行事等を紹介しています。





* ボランティアさんが来てくれました *



☆4月7日(木) 「ふきのとう」10名の皆様による懐かしい唄・演歌等を舞踊を交えて計15曲あまり歌声を披露していただきました。

途中で利用者様とゲームで歌の掛け合いを行い、利用者様には大きな声で歌っていただきました。

また女装したメンバーの方の歌と舞いには大きな歓声

と拍手の中、皆様は目を輝かせ、くいいるように観ていらっしゃいました。「よかった、よかった」

「芸達者な人たちはっかりやなあ」と楽しい時間を過ごしていただきました。

☆4月11日(月) ネイルボランティアの桜井様においでいただきました。もうデイサービスにはお馴染みのネイルケアに「私、してほしいなー♪」「あんたきれいやなあ」「うちの嫁もしてほしいと言うてました」等等、皆様いつも賑やかに、そして「美」に対しては真剣に取り組んでいらっしゃいました。



♪ デイサービスセンターでは音楽療法を行なっています(週1回隔週の水・金曜日) ♪

☆ がんばれ東北、がんばれ日本 ☆

2011年3月11日、午後2時46分。

日本史上最大M9.0という巨大地震“東日本大震災”が起こり、多くの方が被災されました。

「大変なことが起こってしまった…」

「海が大きく揺れて、大きな津波がきたなあ…」

利用者様の関心も強く、大きな衝撃を受けられたようです。

一日も早い復興を願い、皆様で“上を向いて歩こう”を歌唱しました。



by 音楽療法士 A・K

◆ デイサービスから ◆

デイサービスでは日曜日以外、月曜日から土曜日まで(祝日も)、毎日送迎の車を走らせています。鈴鹿・亀山・津にお住まいの方で西は安知本町、山下町、北は太森町、岡田町、東は磯山町、そして南は芸濃町、河芸町までをおおよその範囲として、お迎え・お送りをさせていただきます。

この範囲以外にお住まいの方でもどうぞお気軽にお問い合わせ下さい。可能な限り、ご要望に応じさせていただきます。お問い合わせは、ご本人様でもご家族様でも結構です。お待ち致しております。

電話番号 059-372-3811(代) 担当 ^{なす}那須

新しい年度の始まりです。満開の桜の下に新入生や新社会人の姿を目にし、春の訪れを実感します。陽気に誘われて、積極的に外出する事が多くなるどころですが、今年は震災による自粛やまた花粉症に悩まされている方々が増え、例年のように春の陽光の下で楽しむといった人々の様子は見られません。しかし、少しずつではあっても確実に復興の道を歩み始めることで、いずれまた春を楽しむことも出来ます。ご利用者のお一人がおっしゃいました「人生いいこと半分、悪いこと半分」と。なるほどそうかもしれません。

那須・佐々木